

資料1 在宅医療・介護連携推進の取組進捗管理表（R3-R5）（案）

項目	取組名	取組の目的・概要	ターゲット	リーダー	実施計画				目標(達成時期:令和5年度末)	
			対象者		R3	R3実績	R4	R5	事業実施量	事業成果
日常の療養支援	新規 クリニックとの関わり	目的: 関係機関に地域包括支援センターを知ってもらい、相互に連絡ができる。 概要: 関係機関が地域包括支援センターに求めるものを確認する。	クリニック	令和3年度 きたよし  令和4年度 なかよし	・訪問先リストの作成及び相談窓口を確認し、一覧化する。 ・各包括でクリニックを訪問し、高齢者福祉マップを配布する。 ・訪問時、可能であれば、医師と面談する。クリニックの窓口担当者とは必ず面談し、包括を知ってもらったり、訪問するサイクルを作る。	・クリニックの訪問先リストを作成し、訪問の準備を整えるも、新型コロナウイルスワクチン接種の開始により、クリニック訪問を延期とした。 ・新規開院した、みよしかめいクリニックに市及び各地域包括支援センターで訪問した。	・市内の内科に訪問する。 ・内科以外の診療科の訪問を検討する。	継続	・市内のクリニック等にアポイントメントを取り、年4回程度訪問し、窓口担当者と情報を交換する。	・医療機関等と地域包括支援センター職員のお互いが顔と名前が一致する(包括主観で判断する)
	既存 クリニック以外との関わり(歯科、調剤薬局、介護事業所)		クリニック以外	・R4の取組内容を検討する。 ・クリニック以外の訪問時期を検討する。(R3.8月)	・クリニック訪問が延期になったことに伴い、市内調剤薬局(19施設)に訪問する。	・調剤薬局への訪問を継続する。 ・その他の機関の訪問等を検討する。	継続			
入退院支援	新規 入退院時	目的: 円滑に入退院支援が行うことができる。 概要: 入院病床を持つ病院との入退院支援に関する連携方法の共有する。	病院(病床)	令和3年度 なかよし  令和4年度 おかよし (新規)	・入退院の窓口になる担当者(MSW等)と意見交換ができる場を設定する。 ・どのような交流を望むのか事前に窓口担当者へ確認する。	・令和3年度は、豊田厚生病院と地域包括支援センターのオンライン交流会を開催する。	継続	継続	・年1回オンライン等を活用し、情報交換会の開催(R4)	・退院支援カンファレンスに各地域包括支援センターが年20件参加する。(コロナ前の現状値20件)
				令和3年度 令和4年度 みなよし	・既存の入退院窓口一覧を確認し、豊田加茂医師会以外の病院を追加した窓口一覧を作成する	・みよし市版入退院窓口一覧を作成した。	担当変更がないかを確認する	継続	・対象病院に年1回、担当者を確認する。	・医介連携強化型の地域包括支援センターが窓口一覧の更新し、電子連絡帳で更新する。
急変時の対応	急変時対応	目的: 消防連携を図る。		市役所	・R4の取組内容を検討する。					

項目	取組名	取組の目的・概要	ターゲット	リーダー	実施計画				目標(達成時期:令和5年度末)	
			対象者		R3	R3実績	R4	R5	事業実施量	事業成果
看取り	既存 ACP (意思決定支援)	目的: 市民に人生会議という言葉の意味を普及する。 概要: 人生会議のチラシを用い、説明及びエンディングノートを配布する。	市民	令和3年度 令和4年度 市役所	・介護予防教室や窓口で人生会議について周知し、エンディングノートを配布する。 ・介護予防教室以外の場所で周知できる方法を検討する。	・窓口相談の際に、人生会議の説明を行い、エンディングノートを配布した。 ・みよし市版エンディングノートの発行を検討する。	・継続 ・みよし市版エンディングノートを発行する。	周知度を確認する。 ※確認方法は要検討	・普及啓発週間に図書館の特設ブースにエンディングノートを設置し、10冊配布する。	・周知度向上
				令和3年度 市役所  令和4年度 きたよし	・市民に向けた人生会議の普及啓発を広報みよしの特集ページに掲載する。	・豊田市、豊田加茂医師会在宅相談ステーションと一緒に普及啓発について、協議した。 ・広報11月号に特集ページを掲載した他、中央図書館にて特設コーナー設置した。 ・みよしのホームページを整えたほか、SNSでの配信を行った。 ・豊田市と合同で民生委員向けの研修会を開催する。 ・令和4年度版、高齢者福祉マップに専用ページを新設する。	・みよし市内における人生会議普及啓発強化週間の企画を行う。 ・図書館特集コーナーやイベント等。	継続	・普及啓発強化週間を設定し、人生会議という言葉をも市民が耳にする機会を作る。	・周知度向上
				令和3年度 令和4年度 市役所		・豊田市豊田加茂医師会等、二次医療圏での人生会議普及啓発強化週間の企画を行う。	継続			
全てに関わること	新規 在宅医療介護の統計	目的: 市役所と医介連携推進員が地域の実情を把握する。 概要: KDBシステム等で抽出した統計データをまとめる。	無し	令和3年度 令和4年度 市役所	・KDBシステムの統計データを抽出する。 ・統計データを地域包括ケア推進会議等で共有し、施策に反映させる。	・豊田市と一緒に豊田警察署から死亡統計データを収集し、分析する。 ・衣浦東部保健所と調整し、死亡小票のデータを2年分収集し、分析する。	継続	継続	・年1回統計データを更新する。	・経年で数字を把握し、説明ができる。

項目	取組名	取組の目的・概要	ターゲット	リーダー	実施計画				目標(達成時期:令和5年度末)		
			対象者		R3	R3実績	R4	R5	事業実施量	事業成果	
全てに関わること	新規 在宅相談ステーションとの関わり	目的：在宅相談ステーションの役割を理解し、相互に協力体制が取れる。 概要：在宅相談ステーションと支援機関で交流会や協働し、研修会を開催する。	在宅相談ステーション	令和3年度 令和4年度 市役所		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅相談ステーションの理解について、包括、ケアマネ向けの研修会を企画するも、緊急事態により延期とする。</li> <li>在宅医療サポートセンター事業において、12/4に多職種合同ブロック研修会を開催する。(豊田市と合同開催)</li> <li>地域包括支援センターが調整し、認知症カフェにおいて、在宅相談ステーションが講師となり、ACPの出前講座を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅相談ステーションの理解を図るための研修会を開催する。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回交流会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅相談ステーションへみよし市の支援機関からの相談件数が増加する。</li> </ul>
	新規 関係機関が抱える医会連携の課題の抽出	目的：医会連携の課題が見える化する。 概要：関係機関に対して、ヒアリング等意見を収集する。	関係機関	令和4年度 みなよし			<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集先の機関を選定する。</li> <li>関係機関が抱える医会連携の課題について、ヒアリング等の手法を用いて、情報を収集する。</li> </ul>		継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関が抱える医会連携の課題を一覧化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関から情報を収集したことで、課題が見える。</li> </ul>

長寿介護課：全取組みのマネジメント（進捗管理、調整等）を行う。年度当初及び随時、地域包括支援センターと打合せを行う。

地域包括支援センター：取組みごとに各地域包括支援センターがリーダーとなり、中心的に取組みを進めていく。

リーダー以外の地域包括支援センターも、その取組みに協力する。